

議会だより

わくわく

No.

23

2011年
11月発行

市民体育祭

10/10 市民体育祭(文化広場)
平成23年9月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335 ☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011



▶国に小学校英語教育のモデル校に指定される
弥生小学校を見学する議員【10月12日】

// // // // //
委員長 武田正樹
副委員長 炭竈ふく代
委員 三宮十五郎
安井光子
杉浦敏子
渡邊芳子
佐藤照子
山口敏博

決算に関する事項審査の
ため設置しました。

決算特別委員会

22年度一般会計 および特別会計の 歳入歳出決算認定

決算を認定するもので、

一般会計歳入は151億1千740
万円、歳出は143億1千891万
円で、特別会計を併せた合
計額は歳入238億1千993万
円、歳出は228億7千142万円
です。

質疑

(1) 実情をリアルに反映し
た予算編成を行う努力を求
めます。

9月定例会を8月30日から9月20日までの会期で
開きました。

市長から22年度決算認定など18議案が提出され、
原案通り可決しました。

また固定資産評価審査委員の選任および教育委員
の任命に同意し、人権擁護委員候補者を選任する
と決定しました。

議員提案では、市議会基本条例を制定しました。
一般質問には11人が登壇しました。

9月定例会

主な内容

定例会の審議内容	議案質疑
一般質問(11人)···5···15	やとみフラッシュ···2···4
	16

表紙の説明

市民体育祭が10月10
日、文化広場で行われま
した。リレーや綱引き、玉入
れなど11競技を実施。大
きな声援の中、各学区の
代表選手たちが熱戦を繰
り広げ、総合優勝は弥生
学区が勝ち取りました。



9月定例会

める。予算と決算が、かけ離れているのではないか。
(2) 大きな事業は市単独でできない。

職員が財政のことを考え

られる職務状態を確保すべ

きではないか。

(3) 今後、入札をどう改善

していく考え方。

(1) 県から「他団体と比べ

（予算と決算が）近い」とい

う言葉もあつた。こういつ

た努力もしている。

極力決算見込みに近づけ

るよう研究し、大きな隔たり

がないよう努めていきたい。

答弁（財政課長）

(2) （仮称）第2校小学校

で、約6億1千万円の（国）

補助金等が得られる（見込

みである）。

今後も財政に強い担当者

を多く育てていきたい。

答弁（副市長）

(3) 他自治体を研究しつつ、

一般競争入札の対象工事を

拡大していく方向で検討し

ていいきたい。

質疑（安井議員）

(1) 今後10年間で職員の3

分の1、116人が退職する事

態が発生する。これを好機

と捉え、定数抑制、削減に

努めるとあるが、何人まで

削減すれば適正だと考へて

いるか。

(2) 保育所も本庁職員も、

これ以上の削減は限界では

ないか。

(3) 保育所は、正規保育士

87人と、105人の臨時保育士

が急増している。

（必要な配置保育士数が

増える）3歳未満児の入所

が増えていて、臨時

保育士を募集しても見つか

りにくい状況が続いている。

正規保育士を確保すべき

ではないか。

(4) 職員の健康管理につい

て、メンタル等の病気で休

んでいる職員は何人か。

答弁（総務課長）

(1) 357人が上限である。

制度で活用していきたい。

(3) 一般職は4.2%減だが、

保育士は保育の状況を勘案

し、増やしている。

(4) 病気休暇等を取つてい

る職員は、4人である。

賛成討論（三宮議員）

22年度予算の執行を見る

と、中学校卒業までの子ど

もの医療費無料制度や、15

年間にわたる保育料の据え

置きなど優れた子育て支援

施策、遅れていた全小中学

校の耐震改修工事の完了な

ど、評価できる施策改善が

進められ、賛成する。

採決
全員賛成で可決

**任期満了に伴う選任に、
飯田幹雄氏は再任、細江氏は
岡田幹雄氏の任期満了に伴
う新任です。**

教育委員

質疑（佐藤博議員）
細江さんは市商工会長で
あると同時に、市商工政治
連盟会長でもあり、政治活
動もしている。

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
小出隆通氏の任期満了に
伴い、任命に同意しました。

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
浅野美喜子氏
(58歳・鮫ヶ地)

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
全力投球してもらうべきで
はないか。

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
任期満了に伴い、再任を
適任であると決定しました。

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
花井功氏

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
(64歳・稲吉)

人権擁護委員

質疑（佐藤博議員）
福田正美氏
(67歳・境町)

人権擁護委員

わずか10%課税の不公平税
制は許せるものではなく、
政権への抗議の意味も込め
て、反対する。

採決

賛成起立14人で同意

反対3人（三宮・安井・杉浦）

全員賛成で同意

細江利夫氏
(63歳・松名)

反対1人（佐藤博）

採決

飯田哲夫氏
(65歳・平島町)

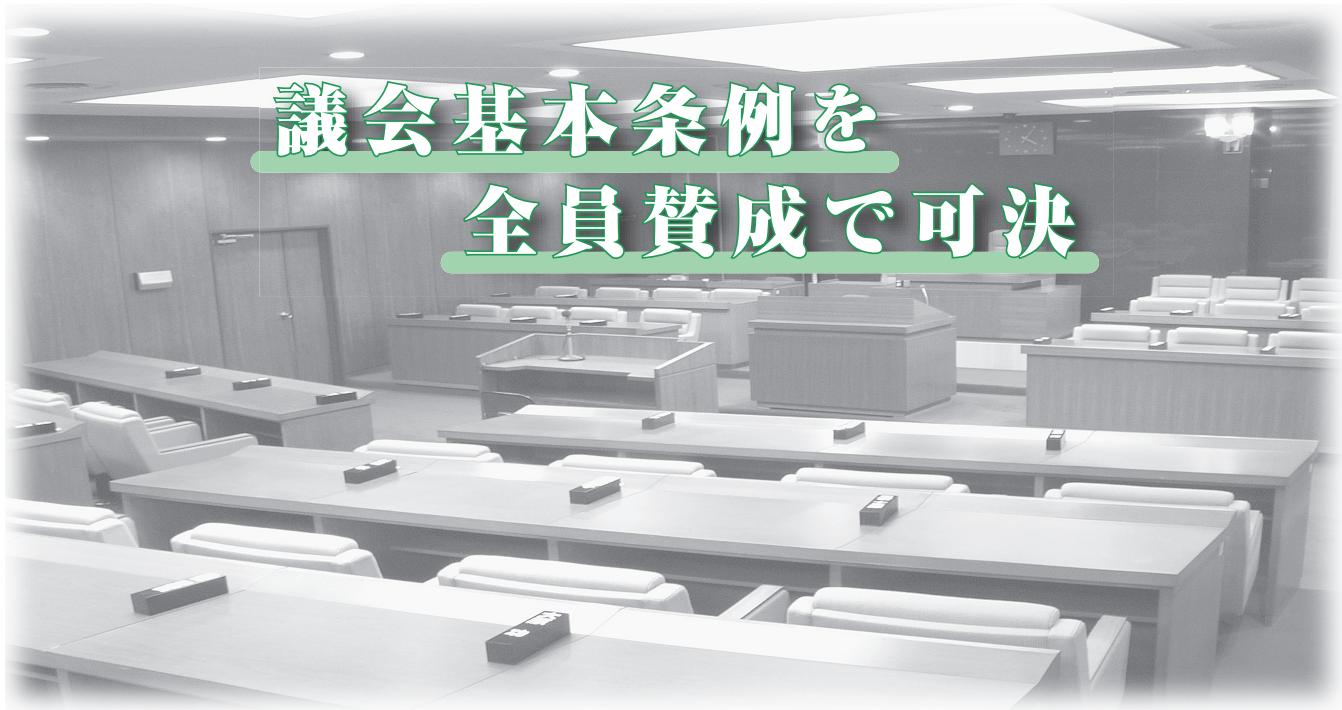
全員賛成で同意

細江利夫氏
(63歳・松名)

反対1人（佐藤博）

細江さんは、民間企業か
ら発する問題に対応しても
らうことには、適任だと思つ
ている。

議会基本条例を 全員賛成で可決



市議会基本条例

市ホームページページ

この条例は、議会と市長および市民との関係を明確にし、議員の責務等を定めた議会運営の最高規範で、10月から施行しています。

～制定の趣旨～

地方議会最大の使命は、行政のチェックと市民要望を反映した政策の実現です。そのためには、議員と市長の両者は、独立対等の緊張感を保持し、二元代表性



12月定例会の開催日程(予定)

期 日	日 程	放送 予定
11月25日(金)	本会議(議案説明など)	
12月 7日(水)	本会議(一般質問)	○
8日(木)	本会議(一般質問)	○
9日(金)	本会議(議案質疑)	
12日(月)	建設経済委員会	
13日(火)	厚生文教委員会	
15日(木)	総務委員会	
20日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)	

～ケーブルテレビ中継～
午前10時～会議終了まで
(録画放映は当日午後7時～予定)

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

議会で本条例を提案し、全員賛成で可決しました。
今後はこの条例の理念に基づき、市政進展と市民の福祉向上に努めていきます。

なお、条例の条文、解説は、市のホームページからご覧いただけます。

意見書の提出

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(総理・総務・財務・文部科
学大臣に提出)

県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(県知事に提出)

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

(総理・総務・財務・文部科

学大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣に提出)

原発から速やかに撤退し、再生可能エネルギーの開発と普及を求める意見書

(総理・経済産業・環境大臣、衆議院・参議院議長に提出)

一般質問

炭 竜 ふく代 議員



高齢者や障害者に、緊急連絡先を記載したカード交付を

問
災害時要援護者の取り組みについて聞く。

- (1) 高齢者の緊急時に、どんな手立てを探っているか。
- (2) 熊本県宇土市は、高齢者や障害者が緊急時、情報を伝える手段として、(希望者に)氏名等を記載したカードの交付を行っている。市もカードを配布している。どうか。

調査の上、取り組みを考えたい

答 介護高齢課長

- (1) 緊急通報システム【】をすでに立ち上げており、見守り、居場所確認等も含めた給食サービス事業も実施している。

また22年度より、救急医



▶救急医療情報キット

療情報キット【】を導入している。

- (A) 一人暮らしの高齢者および身体障害者等を対象に、緊急時に備え、無線発信機や通報機器を貸与する。
- (B) 持病や薬等の医療情報や緊急連絡先等をメモし、20cm程度のプラスチック容器に入れる冷蔵庫に保管する取り組み。万が一の際、迅速な救命活動に役立つ。

- 希望者に配布している。(2) 今後は医療機関等の意見も聞きながら、カードの取り組みを考えたい。
- 他市町の状況、配布対象者、配布方法も調査していく。

希望者に配布している。

市と学校図書館のネットワーク化を

問

学校図書館における人的、

物的整備の推進について聞く。

- (1) 学校図書館の蔵書数は、国の定めた標準冊数と比較し、どんな状況か。
- (2) 学校図書のネットワーク化について、市の考えは何か。
- (3) 小中学校の司書教諭は、学校授業と兼務であると思う。専任化の考えはあるか。
- (4) 弥生小学校は19年から、英語活動授業の拠点校として(国に)指定され、多くの成果があつたと聞いた。この成果を生かし、他校

答 学校教育課長

- (1) 4月現在、7小学校で約9万冊、国の示す標準冊数に対する充足率は161.9%である。
- 3中学校は約3万8千冊に対し、充足率は109.9%である。

- (2) 現在、学校図書館の児童書のデータ化はされていないので、今後、各学校図書、市立図書館とのネットワークシステム構築に向けて、努力していきたい。
- (3) 財政的に困難であるが、現在週1日程度、図書支援員を配置し支援に当たつており、今後も事業を継続していきたい。
- (4) 研究成果を活用できるよう、英語活動推進委員会を各小学校で発足し、指導方法の研究等を進め、取り組みを始めている。

で取り組む計画があるか。

システム構築に向け努力したい

小坂井 実 議員



満潮時の海抜ゼロメートルの定義は

問

作成中のハザードマップ

等、防災について聞く。

(1) 8月に宮城県等を見て

来た。海も見えない高台で家が流されており、津波の恐ろしさを思い知った。

佐古木の竜頭公園は、土台から2mの所にゼロメー

トルが表示されている。

海拔ゼロメートルの定義

は。
(2) 潮には大潮、小潮とあ
るが、どう理解したらいい
のか。

(3) だれでも分かるように
(標高を)表記してほしいが
どうか。

(4) (満潮時はTPプラス
1.2mになるため)運動場な
どは防災拠点になり得ない。

(今後造成する)防災広場
は、海水が流れ込んでもヘ
リコプターが着陸できるよ



東京湾の平均潮位 +1.2m相当

答 防災安全課長

(1) 東京湾の平均潮位 (＝
TP) である。

(2) 満潮時は、(TP)プラ

うにすべきではないか。

市役所改築の見通しは

問

市役所の庁舎改築について聞く。

(1) 庁舎改築等検討委員会 [葉] の第1回目の協議で、耐震改修するのを断念したのか。

[葉] 現庁舎は耐震性が低

く、築後45年が経過し老朽化等が著しい。この問題を協議する委員会で、区長会長等公職者と公募委員2人の計10人で組織している。

第一回は22年8月に開催。耐震化工事は、今後の耐用年数的に費用対効果が低い等の問題からやめ、新築すべきと方向付けされた。

現在協議している。

28年度までに新庁舎を完成させたい

答 総務課長

(1) 耐震補強しても庁舎の耐用年数は延びない。

現在は新庁舎を建設する方針で計画を進めている。

(2) 合併推進債が活用できる範囲内 (＝28年度中) に、建築を終えたい。

(3) 現庁舎の駐車台数が足らないことは認識している。複数階にする案も含め、

ス1.2mまで水が来る。
(3) 2mメッシュ (＝地図上の升目) で、標高は50cm単位に色分けを考えている。

(4) (TP)プラス1.2m以上造成するのは、近隣土地との関連もあり難しい。

議員の指摘も考慮しながら、今後、安全を守るために施設を検討していく。の施設を検討していくきたい。

第2回は22年12月に開催。合併推進債 (＝財政状況により国の支援が受けられる借金) が活用できる28年度までの完成および床面積1万m²を想定した上で、(1)(a)市街化調整区域は法規制により建設できず、(b)市街化区域の大部分は床面積3千m²以下の制限がある。従つて移転新築を見送る(2)十四山支所改築は人口分布上、市の中心から遠い一等の理由から、「現在地に新庁舎建設」を決定した。

24年度以降に基本計画を行い、23年度までに8回会議を行ってにする考えはあるか。

一般質問

佐 藤 高 清 議員



台帳一本化に向け、連携を密に

- (1) 農政について聞く。
(農作業を行なう)才ペレーター(=以下「O P」)と各地区の生産団体との関係、集団営農の組織化、指導者育成等、市としてどう考えているか。
- (2) 市地域水田農業推進協議会(=JJAと市関係者等で構成し、主に生産調整等を協議する組織。以下「協議会」と農業共済の書類の二元化、関係団体の連携強化の考えはあるか。
- (3) 開発と保全をどうバランスを保つていくのか。
市はどんな形で進んでいくのか。

答 市長

- (3) 臨海工業地帯の農地のあり方、転用について知事に相談した。
- 一緒になって考えていくこと

農業関係団体の書類の一元化、連携強化を

問

農政について聞く。

- (1) (農作業を行なう)才ペレーター(=以下「O P」)と各地区の生産団体との関係、集団営農の組織化、指導者育成等、市としてどう考えているか。

- (2) 市地域水田農業推進協議会(=JJAと市関係者等で構成し、主に生産調整等を協議する組織。以下「協議会」と農業共済の書類の二元化、関係団体の連携強化の考えはあるか。

- (3) 開発と保全をどうバランスを保つていくのか。
市はどんな形で進んでいくのか。

答 農政課長

- (1) 十四山地区は約140haを集団化し、生産調整を行っている。

- またJAはOPと相談し、約30haの農地の集団化を推進してきた。

- 今後もOPの育成、受託の促進等による経営の効率化、体制が整えば法人形態への誘導を図っている。

- (2) 市、JA、農業共済(の台帳)は、それぞれに管理がされている。

- 協議会の台帳をもとに農業共済の台帳整理を行い、システムの問題もあるが、一本化に向けて関係機関と連携を密にしていく。

問

全日本大学駅伝の弥富中継所(=国道23号沿い喫茶店前)は、テレビで全国中継される。

- 他自治体は行政を挙げて10月にかにえ町民まつりによるPRを行う。

- また市健康フェスティバルと金魚日本一大会に合わせ、近鉄の企画事業で名古屋から弥富へ「弥富金魚すくい」

大学駅伝等、機会を捉えPRを

うと答弁を得ている。



▶列車内で行われた金魚すくい

答 商工観光課長

- 9月に名古屋市の「ランの館」で、花のランと金魚のコラボレーションで展示、PRを行う。

- 10月にかにえ町民まつりで、着ぐるみの「きんちゃん」によるPRを行う。

駅伝中継地点でPRを予定

- 支援し、大会全体を盛り上げている。

- こういった機会はほかにもあると思うが、今後どうPRしていくのか。

- 今は情報発信に努めていく。

- 伝中継地点でPRを予定。海部地域の名勝を訪ねる日帰りバスツアーもある。

- 今後も情報発信に努めていく。

安井光子議員



コミュニティバスの委託費 1億3千406万円の内容は

問

コミュニティバス【II関連記事11面】について聞く。

- (1) バスの運賃収入は9ヶ月約412万円で、国の補助金は23年度で打ち切られると聞いたが、間違いないか。
- (2) 三重交通との委託契約1億3千406万円の内容は。
- (3) 乗つてもらえるバスにするには、東部ルートは400mごとのバス停、2台運行

が必要ではないか。

(4) ダイヤや運行を変えるときは、懇談会を開き、地域住民の声を聞くことが肝心ではないか。

- (5) 近鉄弥富駅と佐古木駅を、乗り継ぎ拠点として整備する計画はどうなったか。
- (6) 市民から、税金の無駄遣い、廃止せよという意見がある。一方で、交通弱者の切実な声もある。

従来の福祉バス形態が、市の自主運行か、乗り合いタクシーか、方向を決断すべきときではないか。

- (3) 計画で、基本的に巡回福祉バス（＝22年6月まで運行）の年間経費5千万円を、收支で上回らないことが考え方の柱になつており、増車は難しい。
- (4) 地域懇談会を発足（し意見聴取）するならば、増便やバス停等の個別の内容ではなく、費用も含めた立場、見方で協議したい。

人件費6千万円、車両費3千450万円ほか

答 防災安全課長

- (1) 国の補助事業が変更され、24年度以降は最大200万

方法かは、アンケート等を行い結果等も踏まえ、今後どの方向に進むか、別の

- (4) 洋式化が遅れているので、整備していきたい。
- (5) 現在、公共交通と福祉バスの位置付けを同時に進行している状況である。
- (6) 改正しており、現段階では凍結したい。

財政状況を踏まえ計画的に整備

答 学校教育課長

- (1) 普通教室は22年度までに設置した。特別教室は財政状況を踏まえ、計画的に進めていきたい。
- (2) 23年度、1校で工事している。今後、財政状況を見ながら進めていきたい。
- (3) 階段の手すりや段差解消は順次進めており、今後も計画的に進めていきたい。
- (4) 洋式化が遅れているので、整備していきたい。

程度の補助にとどまる。
23年度は約4千970万円を見込んでいる。

- (2) 主に人件費12人分約6千万円、車両借り上げ約3千50万円ほかである。

検討していきたい。

学校の特別教室に扇風機設置を

問 学校施設設備を聞く。

- (1) 特別教室に扇風機設置
- (2) 温水シャワーの設置
- (3) 施設のバリアフリー化
- (4) 教職員トイレの洋式化

一般質問

三宮十五郎 議員



- 子育て支援料は値上げをせず、
子育て支援で定住化促進を**
- 問 子育て支援を、市政の中で、市は5歳以下が5%減少で済んでいるのは、乳幼児を含む子育て支援の長年の努力の結果だと見ている。こうした少子化に対する努力を、今後も引き続いて発展させていくことをどう考えているか。
- (1) 他市で少子化が進む中で、市は5歳以下が5%減少で済んでいるのは、乳幼児を含む子育て支援の長年の努力の結果だと見ている。
- (2) 固定資産税の増加等、子育てするなら弥富といふことで住み着いてもらうことと、今日の市の財政を潤す大きな要因になつていて思うがどうか。
- (3) 保育料は、値上げすべきではない。市に定住して子育てを頑張っている人と力を合わせ、市を発展させ聞く。

答 市長

負担増も含め 保育料を検討する

ていい立場に立った保育料の検討をしっかりとほしいがどうか。



- (1) いかに市の人口減少を食い止めていくかは、大変重要な施策である。市としては、さまざまな子育て支援という形で、例えば中学3年生までの医療費無料化を中心として現在までやってきた。
- 保育料も15年間にわたり据え置いている。16年当時、国県合わせて約1億8千万円だった補助金が、現在は約4千万円である。何とか乗り切ってきたのも、子育て支援の一環だと思つ

- るべきである、延長保育は受益者負担でよいという意見がある。
- 子育て世代の保護者を取り巻く環境は、大変厳しい現状である。市としてさらなる行政改革、税収確保に努めなければならない。
- (2) 平島地区の区画整理事業が大きく貢献し、新しい転入者に対する固定資産税の増加は、その通りである。今回、保育料等検討委員会を立ち上げた。
- (3) 委員会で、保育料(値上げ)は県平均より下げ

ている。
平島地区の区画整理事業が大きく貢献し、新しい転入者に対する固定資産税の増加は、その通りである。そこで、このことも付け加えて、総合的に保育料を検討していきたい。

子育てするなら
弥富市へ

◆ 子どもの医療費を助成します
◆ 子ども医療費支給事業

◆ 各種手当の支給をして子育ての応援をします
◆ 子ども手当
◆ 児童扶養手当
◆ 特別児童扶養手当
◆ 愛知県遺児手当
◆ 弥富市遺児手当

◆ 「はぐみんカード」を配布し、子育て家庭を地域で支えます
◆ 子育て家庭優待事業

弥富市では、現在中学校3年生までの子どもは医療費が無料です。また、子育て支援センター・児童館・保育所なども充実していて、子どもを育てやすいまちとして子育てを応援します。

▶市ホームページ

財政が厳しい
状況において、
さまざまな事業
を執行していく
い。市民に負担



佐藤 博議員

国道155号南進予定地の 前ヶ須地区の道路整備を

問 都市基盤整備について聞

(1) 知事には8月24日
に会った。

(1) 総合計画で、国道155号(南進)整備を要請するところ。

知事と会つたと聞いたが

2)

(2) 弥富のまちを大きく変えるものは、国道155号の南進である。そのためには、

(南進予定地に位置する)前ケ須東勘助地区をしつかり整備することが大事である

(同地区は)今、乱開発が進み、道路網の計画が立っていない。この現状を見て市長はどう感じておられるか。

公共下水に絡め 道路整備に努める

答
市長

(2) 前ヶ須地区は、区画整備事業等を前提に昭和45年に市街化区域に指定された

近年この地区は宅地開発が進んでおり、このことは地権者が面整備よりも土地処分を判断していると理解している。

(ii) 拡幅後の道路用地等のため、地権者が提供する割合が50%になる、(2) 地価の下落一により、地権者同意が得られにくかつた。

が、区画整理事業を進めるための地権者合意が得られなかつたと聞いている。

これからは、公共下水、
道路改良等を進め、前ヶ須
地区の基盤整備に努めたい。

学校の適正配置 検討を

問

学校の適正配置を真剣に
考えないと、学力の向上は
望めないのではないか。

第2桜小の 完成を優先する

答
市長

現在（工事を）進めている
（仮称）第2桜小学校 []

過密、過疎は、教育委員会、保護者、学校当局が力を出し合い、協議しようと思っている。

 桜小学校マンモス化対策の新校。25年4月開校を目指し、旧弥富中学校跡地（＝平島町地内）に、敷地面積約2万7千m²で3階建て延床面積約9千824m²で建設中。

一般質問

山本芳照 議員



震災時、一時避難できる民間マンションはあるか

問

防災について聞く。

- (1) 一時避難場所として提供される民間マンションの数は。

- (2) ハザードマップの配布時期に合わせ、各小学校区で意見交換会の場を設けてはどうか。

5施設が承諾を得られる見込み

答 防災安全課長

- (1) 現段階で協定を結んだ所はない。

8月に3階以上の鉄筋コンクリート造等の所有者に説明会を行い、17施設に来てもらつた。

現段階で5施設が使用させてもらえると考へてゐる。



▶白鳥保育所

公共バスは普通車等で運行を

問

コミュニティバス【II】関

については、話があれば出前講座で対応する。

- 連記事8面】について聞く。
(1) 1日の平均利用者数は何人か。
(2) 中型バスをマイクロバス、普通車に変更してもよいのではないか。

デマンド方式を研究していく

答 防災安全課長

- (1) 4~7月の一便当たり平均で、南部ルート8人、北部ルート31人、東部ルート24人で、1日平均170~180人が利用している。

- (2) (リース期間が5年間であるため)契約等も考へ、現在の形態の方が経費も合理的だと思う。

デマンド方式【】は飛島村等も使っており、研究していきたい。

規定路線外を主に走る乗り合いタクシー方式。事前に電話等で予約し、予約者の自宅

27年開所を目指し、準備したい

答 市長

白鳥保育所整備について、どんな考えを持っているか。

23年度に基本構想、24年度に隣地取得、造成工事、実施設計、25年に工事着手、遅くとも27年春に開所できるよう準備を進めていきた
い。

弥生保育所と同様に、児童館、児童クラブとの複合的な保育所にしていきたい。
避難所としての利用も考えていきたい。

や目的で順次回りつつ、それぞれの目的地で乗降する。
飛島乗合タクシーは、①海南病院と村営バス停に乗降を限定②一日5便の時刻表通りに運行③片道500円の方式で、近鉄タクシーが代行している。

白鳥保育所整備をどう考えるか

問

23年度に基本構想、24年度に隣地取得、造成工事、実施設計、25年に工事着手、遅くとも27年春に開所できるよう準備を進めていきた
い。

大原 功 議員



市長は食事のある会合への参加をやめるべきではないか

問 市長交際費【】について
て聞く。

市長が市を代表し団体等と交際するとき、必要になる懇談会費や法要時の香典等の経費。「市慶弔費支出基準」に基づき、社会通念上妥当と認められる範囲内で支出している。

基準が改正された4月以降、懇談会費の支出対象は、「市全体で組織する団体、学区単位が主催するもの」に限られている。すべての支出手や金額は、市ホームページで公表されている。

(1) 市長は4月まで、自治会に交際費を持つて行っていた。

市長は料理等の出る場所に行くこと自体をやめるべきではないか。

(2) 市民の生命、財産を守ることが特別職ではないか。

(3) 仏様にお供えすることに予算は付いていないはずだが、どうか。

(4) 総会で(同時に)法要があるとき、なぜ市長は数珠

を持つてくるのか。

市民の意見を聞くため出席したい

答 市長

(1) 私の行政運営の基本は、市民と協働のまちづくりを進めていくことである。

自治区や団体の総会や役員会は、市民の意見や要望を聞き、情報を交換し合う大事な場所だと思っている。

今後も自治区や団体から案内があれば、都合のつく限り出席したい。

農家のため、土地改良会合の改善を

問

市長は、土地改良は負担金が多いからいけないと言っていた。

土地改良(の会合)で料理を食べることをなくし、会

答 総務部長

る。

(2) 災害への対応は、市長が本部長になり指揮を執る。ただし、市長が不在、出

張中の場合、代理として副市長等が対応するようにな

っている。

合だけやればいいのではないか。
農業者が気の毒である。改善することが大事ではないか。

農家の賦課金20%軽減を行った

答 市長

農家が大変厳しい状況にある中で、経常賦課金の問題等、多くの問題があるかと思っている。

4月から(農家が負担している)排水賦課金を20%、市で負担するよう改善している。

土地改良区は、さらなる合理化を進めていかなければならぬ中で、(弥富・鍋田・十四山・孫宝排水の4土地改良区)合併を前提とした協議会を立ち上げていきたい。

これから具体的に、各代表者と行政が土地改良の方について議論し、協議していこうと思っている。

一般質問

杉 浦 敏 議員



住宅リフォーム助成の実施 で、地域経済活性化を



- 問 住宅リフォーム助成（＝以下「助成」）について聞く。
- (1) 蒲郡市に続き、23年度、設楽町と江南市が助成を実施している。江南市は工事費の20%、上限20万円を補助し、受け
- 性化につながる意味で、この助成は非常に意義があると思う。
- 共工事を請けられない小さな業者にも仕事が回る。
- 木造住宅耐震改修補助

付け後1週間で予算総額2千万円に達し、申込件数133件、工事額1億3千900万円となつた。

リフォームは多くの潜在的需要があり、少ない出費で大きな経済効果を生み出す。市もスタートすれば、その経済効果が明らかになると考えるがどうか。

(2) 地域経済活用できるところがあるので、とにかく一度スタートしてはどうか。

考えておらず 耐震補助を推進

答 都市計画課長

- (1) 国、県、周辺市町村の動向を見極めた上で検討するので、助成制度の創設は今の時点では考えていない。市としては、耐震補助の推進を今後も図り、県、周

（＝以下「耐震補助」と併せ、助成を検討してほしいがどつか。）
（3）江南市は全額自主財源なしで、国の交付金ですべて賄つたと聞いている。
国の社会資本整備総合交付金（＝以下「交付金」）は、助成にも適用可能であると聞いている。予算で二の足を踏んでいるなら、研究して活用できるのではないか。

（4）交付金は適用しにくいという話だが、実際に使っているところがあるので、活用できると思つ。とにかく一度スタートしてはどうか。

答 市長

- (4) 市民は地震を心配している。耐震補助に24年もしつかり予算計上し、こちらに力点を置いていきたい。
耐震改修を進めながらリフォームすることが、一つの方向だと思っている。

近市町村の対応を注視しながら、事業継続を行っていきたい。

（2）江南市の助成の上限は20万円だが、耐震補助は90万円の補助が受けられる。

堀岡敏喜議員



問

被災地のがれきを受け入れる 判断は、市民の安全を優先に

防災等について聞く。

◀災害用の備蓄品
【中山町地内の防災倉庫】



- (1) 水害を伴つ場合、避難者はすぶ濡れ状態が予想される。避難所の防寒対策は十分か。
- (2) 避難所運営を円滑に行えるよう、マニュアル化しているか。
- (3) 備蓄品等の情報は明確になつているか。
- (4) 避難所運営ゲーム「HUG【手】」は、自主防災会等で行えば、コミュニケーション強化、防災意識啓発になるが、検証してはどうか。
- (5) 静岡県が開発したボーネームで、避難者の部屋割り、炊き出しやトイレ設置などを1グループ6人が話し合い、平面図やカードで擬似運営する。
- (6) 市として独自に、保育所、小中学校グラウンド、通学路、公園等の放射線量

- (7) 学校給食や食品の安全性について、どう取り組んでいるのか。
- 答 防災安全課長**
- 24年度に向けた検討課題として行つていただきたい。
- (1) 1万2千枚ほどの毛布の備蓄を行っている。
- (2) 現在は県のマニュアルを準用している。
- 細部は今後、避難所ごとにどうやっていくのかを考えていきたい。
- 備蓄品は避難所スペースの問題から、市の備蓄品を災害時に搬入する形で行いたい。
- 今後、測定器を購入、必要な応じて測定し、安全を確認していく。
- (3) こういった訓練も取り入れながら、今後、避難所運営を考えていきたい。
- (4) 現在、海部地域で消防協定、(県全体で)廃棄物処理協定がある。

- 計測が必要ではないか。
- 答 教育部長**
- 8月下旬に市内保育所で測定し、1時間当たり0.042から0.083マイクロシーベルトだった。自然界から受ける範囲内で、害物質は受け入れないと明言している。
- 答 環境課長**
- (5) (ごみ処理を行つていい)海部地区環境事務組合は、市と鍋田地区の了解を得た上で、可燃性廃棄物を受け入れるとしている。
- 県は、放射性廃棄物や有害物質は受け入れないと明言している。
- (6) (財)県学校給食会が、独自に放射線量測定を実施している。
- 納入業者等関係団体との連絡を密にし、産地確認や国的情報に留意し、安全確保に努めたい。

山 口 敏 子 議員



有事に避難所となるスポーツ施設に、エアコン設置を

問

市内スポーツ施設設備の充実について聞く。

(1) 十四山スポーツセンターで中学生のバスケット大会が行われたとき、酷暑のために、アリーナ席で気分が悪くなつた応援者があつた。車いすを用意したが、アリーナ席が階段状で運び出せず、(担架あれば)クーラーの効く所で休むなど、手当ができるかもしない。その人は救急車で搬送された。

とと思うと、本当に胸が痛んだ。
市の指定避難所には、ス

ポーツ施設も入つており、もしものときはそこで生活することになる。

温度計と救護設備、空調設備の設置が進められたら

いいと思うがどうか。

天井落下予防を優先したい

生涯学習課長

(1) 屋内で運動可能な施設は、①総合社会教育センタ

ー総合体育館、②市立武道場、③白鳥および南部コ

ミニティセンター、④十四

山スポーツセンター、⑤十

四山体育館、⑥十四山公民

館講堂、⑦小中学校体育館、

⑧総合福祉センター多目的



ホールである。

そのうち空調設備は、①総合体育館の多目的室、③の多目的ホール、④の第2アリーナ、⑥、⑧が冷暖房可能となっている。

担架の設置は、中央公民

館と総合体育館、十四山ス

ポーツセンターに各1基設

置してある。

質問の十四山スポーツセ

ンターは担架はあつたが、

利用に至らなかつたことに

深くお詫びする。

今後は未設置施設に順次配置し、設置場所を表示し、改善を図りたい。

温度計設置は実施していきたい。

答 市長

(2) 小中学校の耐震化は、22年度までにすべて完了した。避難施設の天井の落下(予防)に対し、24年度から予算を立て、施設を改修していく

たい。

ほとんどどのスポーツ施設

は、空調施設を設置してい

ないが、多額の経費が必要

なことも承知の通りである。

まず建物の安全を優先順位

とし、総合的に考えていく

たい。

温度計設置は実施してい

カムラスケッチ やまとフラッシュ!

ホッテ、ホッテ、またホッテ!

十四山東部小学校の芋掘りが10月12日、同校付近の畑で行われました。

5月の苗植え以来、児童らが水やりなどを手伝って育てた「紅あずま」。全校児童約180人は班ごとに分かれ、協力して作業を行いました。収穫した芋は後日焼芋にし、保護者と一緒に秋の味覚を満喫しました。



初めての「仕事」

十四山中学校生徒の職場体験学習が10月18日から3日間、市内各所で行われました。

2年生生徒約50人が市内の病院、スーパー、工場など、23カ所の職場を体験。市役所の図書館業務を体験した岩田省吾君は「受け付けが緊張しました」と話していました。

きれいに洗えたかな？

健康フェスタ2011が10月23日、十四山スポーツセンター等で行われました。

恒例の健康チェックのほかに、板東英二さんの講演、駅伝大会や魚釣り大会、おにぎり無料配布などが行われ、大勢の家族連れがイベントを楽しみました【写真=手の洗い残しの有無を装置で確認する子ども】。

